

# 建設工事の最低制限価格の算定例

## <最低制限価格算出式>

$$\text{最低制限価格（税抜）} = \text{予定価格(税抜)} \times (\text{市長が定める最低制限価格算出の基準率} + X \text{の下2桁} \times 0.0001)$$

※ 千円未満切捨て

※ X = 入札者全員の決定くじ番号の和

## <算定例>

○入札者が8社

○予定価格（税抜） = 14,277,000円

○市長が定める最低制限価格算出の基準率 = 0.90の場合

業者番号	業者名	入札金額（税抜）	決定くじ番号	入札結果
100	A	12,950,000	777	落札
101	B	13,000,000	123	
102	C	13,560,000	214	
103	D	14,100,000	369	
104	E	12,640,000	852	失格
105	F	12,599,000	101	失格
106	G	12,610,000	568	失格
107	H	12,645,000	455	失格
決定くじ番号の合計（X） =			<b>3459</b>	

Xの下2桁 = 59となる

最低制限価格算出式に当てはめると

$$\begin{aligned} & 14,277,000\text{円} \times (0.90 + 59 \times 0.0001) \\ & = 14,277,000\text{円} \times 0.9059 = 12,933,534\text{円} \end{aligned}$$

最低制限価格（税抜）は千円未満切捨てのため、**12,933,000円**となり、最低制限価格を下回ったE、F、G、H社は失格、A社が落札業者となります。